

日医総研

日医総研 日医総研ワーキングペーパー

No.269

地域の医療提供体制現状と将来
- 都道府県別・二次医療圏データ集 -

高橋泰(国際医療福祉大)、江口成美

概要

- ・わが国の人口全体が減少するなか75歳以上人口は2035年まで急増し、多くの二次医療圏で高齢者向け病床のニーズが高まる。地域各地で将来を見据えた資源配分を検討していくことが必要である。本データ集は全国の二次医療圏別の人口変化と医療資源に基づく既存分析データを県別に示している。二次医療圏単位の将来の医療提供体制について、ひとつの見方を提供することを目的としている。

ダウンロード ↓

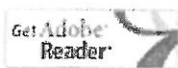
■ I章 概要

■ II章 都道府県別・二次医療圏別データ

01 北海道	02 青森県	03 岩手県	04 宮城県
05 秋田県	06 山形県	07 福島県	08 茨城県
09 栃木県	10 群馬県	11 埼玉県	12 千葉県
13 東京都	14 神奈川県	15 新潟県	16 富山県
17 石川県	18 福井県	19 山梨県	20 長野県
21 岐阜県	22 静岡県	23 愛知県	24 三重県
25 滋賀県	26 京都府	27 大阪府	28 兵庫県
29 奈良県	30 和歌山県	31 鳥取県	32 島根県
33 岡山県	34 広島県	35 山口県	36 徳島県
37 香川県	38 愛媛県	39 高知県	40 福岡県
41 佐賀県	42 長崎県	43 熊本県	44 大分県
45 宮崎県	46 鹿児島県	47 沖縄県	

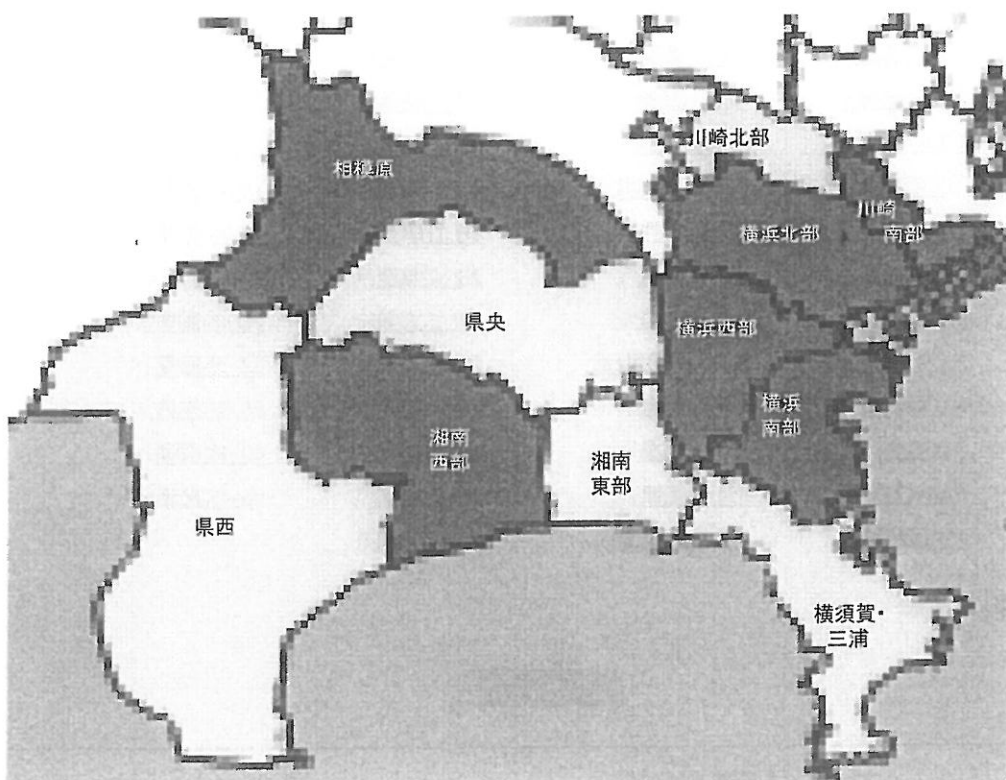
■ 巻末資料

CLOSE



リサーチなどの資料を閲覧するには
Adobe Reader(TM)が必要です。

14. 神奈川県



1.4 神奈川県

A. 医療提供体制の現状

神奈川県の特徴は、埼玉県と似ており（１）病床と看護師の不足、（２）多中心的な医療提供体制、（３）医療需要増に対応すべき地域の存在である。

（１）病床と看護師の不足

県全体の偏差値は、病床数 4.1、一般病床数 4.2、病院勤務医数 4.8、全身麻酔数 5.0、看護師数 4.1 と、病床と看護師が不足気味である。特に横浜北部、川崎北部、湘南東部、県央などの不足が激しい。

（２）多中心的な医療提供体制

全県的に全身麻酔手術が行われ、県内各地に拠点病院が存在するが、人口 905 万人に対し、医療機関が不足気味である。多くの人が、特別区や他の医療圏の医療機関を受診している。

（３）医療需要増に対応すべき地域の存在

横須賀・三浦、県西（小田原）を除き、2010 年→35 年にかけて全ての医療圏で 75 歳以上人口が 80%以上増え、これらの地域の全てが、医療不足気味の地域である。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

（横浜北部、川崎北部）

この 2 つの地域は、高齢者向けの施設が多く（偏差値 7.0 と 7.9）、一般病床が少なく（偏差値 3.7 と 3.6）、看護師も少ない（偏差値 3.6 と 3.5）。現在医療の提供能力が低いのに、将来的には東京の介護が必要な高齢者の受け皿となる可能性が高い地域でもあるので、まず高齢者向けの医療や介護にかかわる看護師と介護職員などの養成、他の地域からのリクルートなど、あらゆる手を尽くしての人材の確保が不可欠である。医療病床の増床、療養、亜急性期、回復などの整備も必要である。

（横浜西部、横浜南部、川崎南部）

この 3 つの地域は、一般病床（偏差値 4.3、4.5、5.2）、病院勤務医（4.7、5.7、5.0）、全身麻酔数（5.4、5.4、5.9）、看護師数（4.3、4.3、4.5）と、東京特別区の区中央部、区西部以外の 5 つの医療圏と比べ、充実した医療が提供されている。ただしこれらの地域も看護師不足が著明である。

この地域の2010→35年の総人口は、2%減、0%、5%減と少なく、75歳以上の高齢者が88%増、96%増、105%増と高い伸びを示すので、高齢者向けの医療や介護にかかわる看護師や介護職員などの養成、人材の確保が不可欠である。療養、亜急性期、回復などの整備も必要である。

(横須賀・三浦)

この地域の人口当たりの偏差値は、病院勤務医47、全身麻酔49、看護師数40であり、基幹病院もバランスよく配置されている。後期高齢者の2010→35年の伸びも44%と他の神奈川県内の地域より低い。療養、亜急性期、回復などの整備や高齢者施設の増強などが進むことが望ましい。

(湘南東部、県央)

この2つの地域の人口当たりの偏差値は、病院勤務医が42と37、全身麻酔数が44と42、看護師が35と37であり、医療提供体制の弱い地域といえる。特に湘南東部の看護師の偏差値35、県央の病院勤務医37は、県内最低の水準である。2010→35年の後期高齢者が、湘南東部95%、県央142%と高い。この地域も、現在の医療や介護の資源ではとても対応しきれないくらい医療も介護も需要が急速に高まるので、医療・福祉の人材の確保と養成、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強、地域内のネットワークの強化などが必要である。

(湘南西部、相模原)

湘南西部には東海大学が、相模原には北里大学があり、病院勤務医の偏差値が59と55、全身麻酔数が59と54、看護師数が49と46と、神奈川県内では医療提供体制が充実した地域である。相模原には県央から、湘南西部には県西からの患者流入が多い。2010→35年の後期高齢者が、湘南西部105%、相模原137%と非常に高い。医療も介護も需要が急速に高まるので、医療・福祉の人材の確保と養成、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強、地域内のネットワークの強化などが必要である。

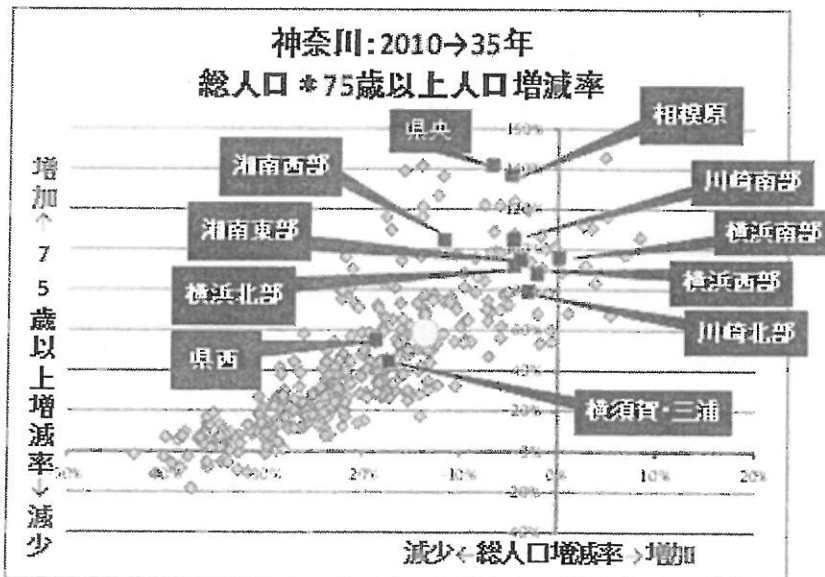
(県西)

病院勤務医41、全身麻酔数45、看護師44と、いずれも全国平均よりかなり低い。2010→35年にかけて総人口19%減、後期高齢者増55%と、神奈川県内では一番低い。高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強、地域内のネットワークの強化などが進むことが望ましい。

表 14-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
神奈川県	9,048,331	2位	2,416	43位	3,745.4		20%	-6%	92%
横浜北部	1,518,277	17%	177	7%	8,573.0	大都市型	17%	-4%	92%
横浜西部	1,109,522	12%	138	6%	8,028.4	大都市型	22%	-2%	88%
横浜南部	1,060,974	12%	122	5%	8,690.8	大都市型	22%	0%	96%
川崎北部	820,047	9%	79	3%	10,414.6	大都市型	16%	-3%	79%
川崎南部	605,465	7%	64	3%	9,466.3	大都市型	17%	-5%	105%
横須賀・三浦	732,059	8%	207	9%	3,536.9	大都市型	26%	-17%	44%
湘南東部	692,410	8%	119	5%	5,836.2	大都市型	20%	-4%	95%
湘南西部	594,518	7%	253	10%	2,347.8	大都市型	21%	-12%	105%
県央	838,464	9%	293	12%	2,863.5	大都市型	19%	-7%	142%
相模原	717,544	8%	329	14%	2,182.0	大都市型	19%	-5%	137%
県西	359,051	4%	635	26%	565.2	地方都市型	25%	-19%	55%

図 14-1 総人口と75歳以上人口の増減率 (2010年→35年)



高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」 2012
 (A. 「医療提供体制の現状」、表14-1、表14-2、表14-5、図14-4)
 厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H. 24. 3
 (図14-5)

表 14-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数				一般病床数(再掲)				総高齢者ベッド数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
神奈川県	77,114	4.6%	852	41	47,182	5.2%	521	42	87,061	6.5%	110	57
横浜北部	9,441	12%	622	36	6,039	13%	398	37	15,597	18%	137	70
横浜西部	10,970	14%	989	44	6,149	13%	554	43	15,467	18%	143	73
横浜南部	8,537	11%	805	40	6,363	13%	600	45	8,775	10%	85	45
川崎北部	5,208	7%	635	37	3,009	6%	367	36	8,825	10%	154	79
川崎南部	5,453	7%	901	42	4,630	10%	765	52	3,812	4%	80	43
横須賀・三浦	6,475	8%	884	42	4,168	9%	569	44	8,909	10%	98	51
湘南東部	4,858	6%	702	38	2,726	6%	394	37	5,873	7%	97	51
湘南西部	7,010	9%	1,179	47	3,702	8%	623	46	5,105	6%	96	50
県央	6,797	9%	811	40	4,284	9%	511	42	5,619	6%	94	49
相模原	7,956	10%	1,109	46	3,850	8%	537	43	5,047	6%	94	49
県西	4,409	6%	1,228	48	2,262	5%	630	47	4,032	5%	99	52

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

図 14-2 病床数(人口10万当たり)、総高齢者ベッド数(75歳以上1,000人当たり)

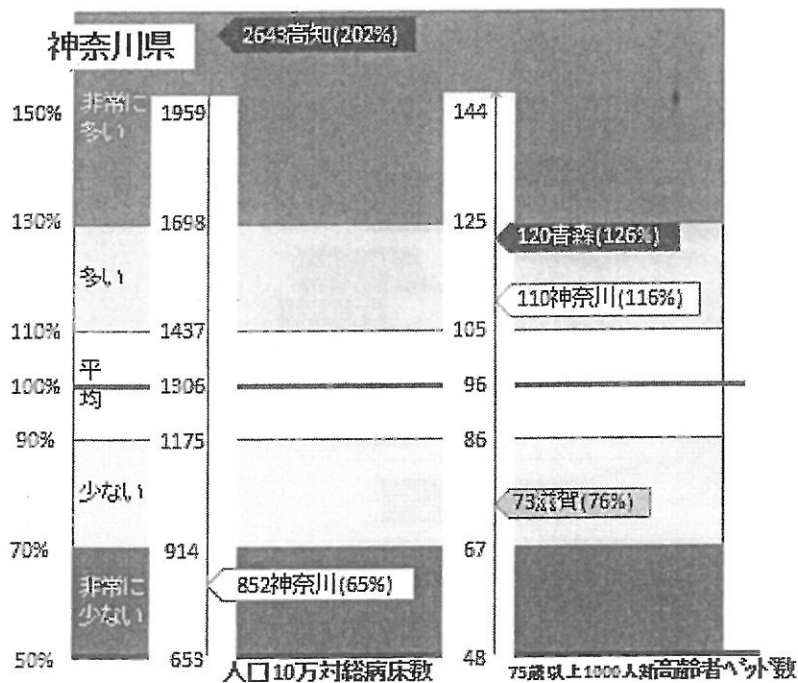


表 14-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養 病床数	県内 シェア	人口10 万当り	偏差値	回復期 病床数	県内 シェア	人口10 万当り	偏差値	精神病 床数	県内 シェア	人口10 万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
神奈川県	12,479	3.7%	138	44	2,781	4.5%	31	46	14,295	4.1%	158	45
横浜北部	1,926	15%	127	44	524	19%	35	47	952	7%	63	40
横浜西部	1,250	10%	113	43	341	12%	31	46	3,204	22%	289	51
横浜南部	330	3%	31	39	372	13%	35	47	1,393	10%	131	43
川崎北部	796	6%	97	42	175	6%	21	44	1,228	9%	150	44
川崎南部	386	3%	64	41	119	4%	20	44	248	2%	41	39
横須賀・三浦	953	8%	130	44	223	8%	30	46	1,109	8%	151	44
湘南東部	977	8%	141	44	180	6%	26	45	969	7%	140	44
湘南西部	1,308	10%	220	48	256	9%	43	49	1,588	11%	267	50
県央	643	5%	77	41	376	14%	45	49	1,488	10%	177	45
相模原	2,811	23%	392	56	145	5%	20	44	1,144	8%	159	45
県西	1,099	9%	306	52	70	3%	19	43	972	7%	271	50

表 14-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救 急セン ター	県内 シェア	人口100 万当り	偏差値	がん診 療拠点 病院	県内 シェア	人口100 万当り	偏差値	総療法 士数	県内 シェア	人口10 万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
神奈川県	12	5.9%	1.3	49	12	3.2%	1.3	45	3,797	4.3%	42	43
横浜北部	2	17%	1.3	49	1	8%	0.7	44	593	16%	39	42
横浜西部	2	17%	1.8	51	2	17%	1.8	47	502	13%	45	44
横浜南部	1	8%	0.9	47	1	8%	0.9	44	432	11%	41	43
川崎北部	1	8%	1.2	48	1	8%	1.2	45	242	6%	29	40
川崎南部	2	17%	3.3	57	1	8%	1.7	46	229	6%	38	42
横須賀・三浦	1	8%	1.4	49	1	8%	1.4	46	339	9%	46	44
湘南東部	1	8%	1.4	49	1	8%	1.4	46	256	7%	37	42
湘南西部	1	8%	1.7	50	1	8%	1.7	46	349	9%	59	47
県央	0	0%	0	43	0	0%	0	42	411	11%	49	45
相模原	1	8%	1.4	49	2	17%	2.8	50	303	8%	42	43
県西	0	0%	0	43	1	8%	2.8	50	141	4%	39	42

表 14-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC 病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
神奈川県	10,041	6.4%	111	48	40,648	4.8%	449	41	126,822	7.1%	1,402	50
横浜北部	1,330	13%	88	43	5,304	13%	349	36	17,044	13%	1,123	47
横浜西部	1,175	12%	106	47	5,601	14%	505	43	19,238	15%	1,734	54
横浜南部	1,715	17%	162	57	5,428	13%	512	43	18,422	15%	1,736	54
川崎北部	942	9%	115	49	2,619	6%	319	35	8,432	7%	1,028	45
川崎南部	744	7%	123	50	3,309	8%	546	45	12,918	10%	2,134	59
横須賀・三浦	778	8%	106	47	3,219	8%	440	40	9,614	8%	1,313	49
湘南東部	546	5%	79	42	2,309	6%	333	35	6,546	5%	945	44
湘南西部	1,017	10%	171	59	3,734	9%	628	49	12,534	10%	2,108	59
県央	453	5%	54	37	3,111	8%	371	37	6,416	5%	765	42
相模原	1,075	11%	150	55	4,138	10%	577	46	12,140	10%	1,692	54
県西	266	3%	74	41	1,879	5%	523	44	3,518	3%	980	45

図 14-3 病院勤務医数 (人口 10 万人当たり)

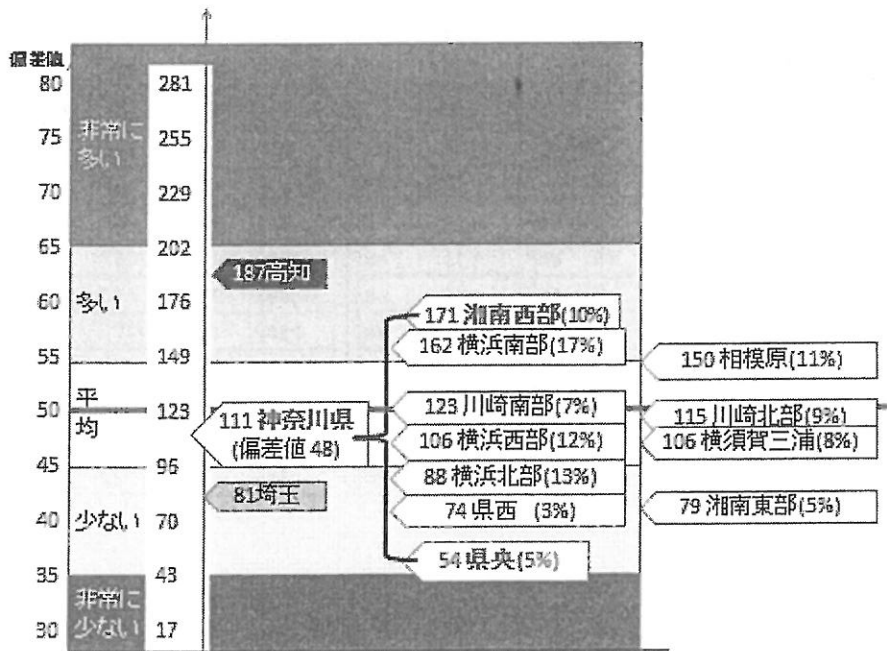


図 14-4 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数



図 14-5 二次医療圏 (流入出)

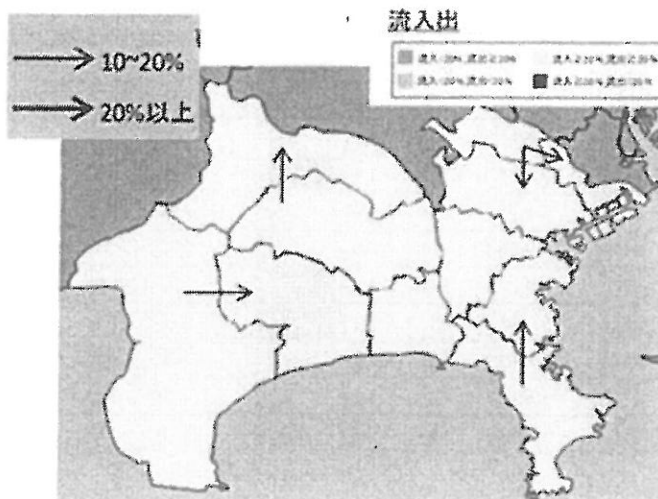


表 14-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	老人保健 施設収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	特別養護 老人ホーム 収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
神奈川県	37,105	5.3%	47	47	16,673	5.4%	21	49	20,432	5.2%	26	48
横浜北部	5,901	16%	52	51	3,110	19%	27	60	2,791	14%	24	46
横浜西部	7,389	20%	68	66	3,414	20%	32	67	3,975	19%	37	59
横浜南部	4,263	11%	41	42	1,958	12%	19	45	2,305	11%	22	44
川崎北部	2,544	7%	44	45	1,191	7%	21	48	1,353	7%	24	46
川崎南部	1,623	4%	34	36	472	3%	10	29	1,151	6%	24	46
横須賀・三浦	4,113	11%	45	46	1,657	10%	18	44	2,456	12%	27	49
湘南東部	2,322	6%	38	40	1,012	6%	17	41	1,310	6%	22	44
湘南西部	2,116	6%	40	41	804	5%	15	38	1,312	6%	25	46
県央	2,587	7%	43	44	1,147	7%	19	45	1,440	7%	24	46
相模原	2,482	7%	46	47	1,091	7%	20	47	1,391	7%	26	48
県西	1,765	5%	44	44	817	5%	20	47	948	5%	23	45

表 14-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者 住宅数 合計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	有料老人 ホーム計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
神奈川県	49,956	7.8%	63	60	26,725	11.3%	33.9	66	9,382	6.0%	11.9	51
横浜北部	9,696	19%	85	72	4,661	17%	40.9	72	1,733	18%	15.2	57
横浜西部	8,078	16%	75	66	3,313	12%	30.7	63	2,118	23%	19.6	64
横浜南部	4,512	9%	44	49	1,807	7%	17.5	51	736	8%	7.1	43
川崎北部	6,281	13%	110	85	4,487	17%	78.4	107	602	6%	10.5	49
川崎南部	2,189	4%	46	50	1,227	5%	25.9	58	442	5%	9.3	47
横須賀・三浦	4,796	10%	53	54	2,777	10%	30.6	63	993	11%	11.0	50
湘南東部	3,551	7%	59	57	2,447	9%	40.4	72	537	6%	8.9	46
湘南西部	2,989	6%	56	56	1,764	7%	33.1	65	526	6%	9.9	48
県央	3,032	6%	51	53	1,919	7%	32.2	64	558	6%	9.4	47
相模原	2,565	5%	48	51	1,057	4%	19.6	53	719	8%	13.3	54
県西	2,267	5%	56	56	1,266	5%	31.2	63	418	4%	10.3	49

表 14-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域区分	2010→35 総医療 需要	2010→35 0-64歳 医療需要	65-74歳 医療需要	0-74歳 医療需要 (再計)	75歳以上 医療需要	2010→35 総介護 需要
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
神奈川県		22%	-20%	15%	-8%	92%	78%
横浜北部	1	20%	-16%	18%	-6%	92%	78%
横浜西部	1	26%	-18%	27%	-2%	88%	77%
横浜南部	1	30%	-16%	27%	-1%	96%	84%
川崎北部	1	20%	-14%	37%	0%	79%	69%
川崎南部	1	27%	-20%	41%	-3%	105%	92%
横須賀・三浦	1	2%	-28%	-14%	-23%	44%	36%
湘南東部	1	24%	-18%	19%	-5%	95%	81%
湘南西部	1	18%	-26%	-3%	-18%	105%	86%
県央	1	27%	-22%	10%	-11%	142%	114%
相模原	1	28%	-20%	9%	-10%	137%	111%
県西	2	3%	-31%	-13%	-24%	55%	45%

図 14-6 神奈川県 2010年→35年介護医療需要の増減予測

